

カフェ

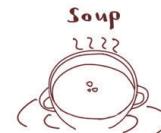
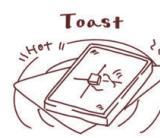


スープボランティア

カフェで提供しているスープはスープボランティアが考えています。スープの内容・レシピ・材料・季節など各々過去のメニューと照らし合わせてメニューを出します。みんなで出し合ったメニューについて話し合い材料やレシピを考えます。アドバイザーの意見を伺ながら試作試食して改善点などみんなで意見を出し合います。最後はスタッフのみなさんにも試食していただき新作スープを決定します。

カフェボランティア

普段のボランティア活動では、キッチンでのドリンク提供やスープの下準備から、小箱作家さんの納品チェックやSNSで小箱作品の紹介をしたりなど、スタッフさんのお仕事をお手伝いしています。



私自身、3年程ご無沙汰していましたが、またボランティアとして活動させていただいています。過去に栄養士の勉強をしていたので、また改めてスープボランティアは楽しく、食についてのやり取りはとても有意義な時間です。この機会がいただけたことに感謝。

スープボランティア 小森静

私は川崎市民ではなく、カフェを通して幸区のことを知りました。スタッフさんやカフェに来られる方々と交流する中で、皆さんの温かさやこのまちの良さを今とても実感していて、少しずつですが幸区で自分のコミュニティを広げられているように感じます。ボランティアをしていかなかったら幸区のことでも知らなかっかもしれないと思うと、ここで活動ができる本当に良かったと思っています。

カフェボランティア 清水菜々子

カフェにやってくる方々やスタッフさん、ボランティアさんと何気なく話している時間が温かくてとっても居心地がいいです。カフェにいるだけで色々な話題や交流に触れられて、自分の興味や関心の幅がぐっと広がるのを感じます。これからもタウンカフェを通じて沢山の活動に参加していきたいです！

カフェボランティア 小泉理タ子

小箱ショップ



店内の壁いっぱいに広がる小箱には、布小物、お花、アクセサリー、ガラスや陶器、紙細工、木工品、ミニチュア雑貨、絵画。個性あふれる手づくり作品が勢ぞろい。季節の棚にはたくさんの作品が集まっています。現在も出店のご希望が多数あります。

■契約欄数：95棚
■登録オーナー数：290組

ハッピーサロン

「テーマをもとに学び、語り合い、楽しむ地域の新しい交流の場」をコンセプトにイベントを企画・開催する活動。主に地域交流に興味のある人が集う場となっています。



食をテーマにした企画は、気持ちもお腹も満たしました。また、どの企画も「和気あいあい」と居心地よい雰囲気になるのはハッピーサロンならではを感じます。タウンカフェが、このまちに出来た事で私は、このような活動に参加でき多くの繋がりを築くことが出来ました。

ハッピーサロンボランティア 竹内尚美

参加した方からは「毎回違った話題で盛り上がる」「目的のない話をできるのが楽しい」などのお声をいただきました。

カフェに憧れがあった自分にとって、コーヒーと交流を楽しめるイベントを定期開催できることは、嬉しい限りです。これからも、ゆったりと交流を楽しんでいただけたらと思います。

ボランティア 山崎悠介

まだ名のない交流会



「まだ名のない交流会」は、毎月第2土曜の19時～21時に開催しています。挽きたてのコーヒーやお菓子を味わいながら、ゆったりとした交流が楽しめるイベントです。毎回参加する方の顔ぶれが変わり、色々な話題で盛り上がります。時には、自己紹介だけで終わることもあります。



私は、新川崎タウンカフェで「オカリナを吹かせて欲しい」から始まり、情報誌「まちのおと」にも関わらせていただいています。自分の住んでいる街や人の魅力を知ることは本当に楽しい！そしてそれがつながってどんどん広がっていくことがおもしろいです。これからも知らないことをたくさん知りたいです。

まちのおと情報誌編集/カフェ/ハッピーサロンボランティア
中村純子

私はボランティアカメラマンとして新川崎タウンカフェに関わらせていただいている。ここに来るたくさんの人の笑顔を撮ることにやりがいを感じています。これからもできる限り続けていきたい活動です。

まちのおと情報誌取材、カメラ撮影ボランティア
木戸真理子

デコ鮭



岩手県大槌町の「おおつちおばちゃんくらぶ」が主催している「Shake Hand プロジェクト」デコ鮭に参加しています。デコ鮭は東日本大震災で被害を受けた大槌町支援のための取り組みで、白い鮭のマスコットに参加者が自由にデコレーションをし、そのデコ鮭を展示販売した売上げが大槌への寄付金となるチャリティープロジェクトです。新川崎タウンカフェではデコ鮭を作るワークショップを開催したり、展示販売をしたりしています。

この活動を通して、震災と復興支援の気持ちを忘れないことの大切さや、みんなで集う楽しさやありがたさを実感しています。また、デコ鮭に限らず物産の販売など少しずつ繋がりが広がっていくことを嬉しく思っています。
デコ鮭ボランティア 善方さゆり



まちのおと ソーシャルデザインセンター

地域情報誌



「まちのおと」は、地域の魅力を感じ伝えたいと思うボランティアが、まちを歩いて取材した記事を編集して発行している地域発の情報誌です。

年一回、数千部発行し、取材に協力していただいた方を始め、まちで活動している団体や商店会にも配布しています。

毎回好評の「ここどこ？」のページではお散歩で見つけた楽しいスポットを紹介しています。道路標示の「あっ！」がテレビで紹介されたことも。お読みになりたい方は、新川崎タウンカフェや鹿島田DAYS店頭でお手に取ってみてください。



実は、私もお散歩のお供にして思ひぬ発見に巡り合えて喜んでしまうことがあります。そして、編集では言葉選びが一番のこだわりです。

まちのおと情報誌編集ボランティア
森部隆

地域交流イベント

まちづくり応援フォーラムや、地域交流会、意見交換会などを7回実施しました。

地域団体が活動を発表し、それを参加者が応援する場や、どなたでも参加できる交流会では地域資源やまちの魅力を発見する機会となりました。継続して開催していきたいと思います。



ポータルサイト

身近にこんな良い場所やお店があるんだと様々な発見を通して、住んでいる地域の魅力を再確認できるとても良い活動だと私は感じています。様々な方が執筆されていて、多くの角度から幸区を見ることができるので、是非まちのおとポータルからご覧ください。

ボランティア 伏見彩

Open Cafe Day

新川崎タウンカフェの休業日である第3月曜日を活用して、貸し切りで地域活動にご利用いただけます。これから活動を始めた人、試しにチャレンジしてみたい人、みんなで集える場所が欲しい人など、多様なイベントが開催されています。



レポート
まちのマップ

まちのマップ
まちのマップ

